



Der Brückenpfeiler

2024年3月

Der Brückenpfeiler は「橋脚」という意味のドイツ語です



公益財団法人 日独協会 情報紙
2024年3月1日発行（不定期発行）
編集責任：柚岡一明（編集長）公益財団法人 日独協会
〒160-0016 東京都新宿区信濃町 18-39 マヤ信濃町 2 番館
電話 03-5368-2326 / FAX 03-5368-2065
Website : <http://www.jdg.or.jp> Mail : jdg@jdg.or.jp

日独協会からのお知らせ

* 2024(令和6)年度 個人維持会員継続のお願い

来年度の個人維持会員継続のお願い、および郵便局の「払込取扱票」を本紙に同封しています。(今号は、これらの書類の送付のため、通常は PDF で会報誌をご覧いただいている会員の方々にも本紙をお送りしています。)

今後も会員の皆様に魅力ある活動と集いの場を提供できるよう努めて参りますので、引き続きご支援を賜りたく、新年度の個人維持会費の納入をお願い申し上げます。2023年度末をもって退会される場合は、お名前と会員番号、退会希望の旨を書面(郵便、FAX、E-Mail)にてお送り下さい。なお、新年度の年会費が一定期間納入されない場合は、会報誌の送付を一時停止いたします。

* 協会ウェブサイト リニューアル

昨年、日独協会のウェブサイトのセキュリティを強化するために、サーバー会社を変更しました。それに伴い協会サイト内のいくつかのページが表示されなくなり、リンクが切れるなどの不具合が発生しています。また、現在、協会のウェブサイトのリニューアル作業が行われていますが、夏頃に新しいサイトに移行する予定です。不具合の部分は新サイトへの移行と共に改善される予定ですので、しばらくお待ちいただきますようお願いいたします。

* 2024年度 ドイツ語春期講習会

3月2日(土)から30日(土)まで、春期講習会を開催いたします。全12クラス、いずれのクラスも単発1日~5日間の短期集中講座で、特に強化したい部分や興味にあわせて短期間で効率的に学びます。オンラインでの開催ですので、ネット環境があれば日本各地、世界各地からご参加いただけます。詳細は同封のパンフレットか協会ウェブサイトでご確認ください。

<https://jdg.or.jp/lesson/tanki.j.html>

* 2024年度 ドイツ語講習会上半期コース

4月から協会のドイツ語講座の新学期が始まります。ほとんどのクラスがオンラインでの開催です(一部対面開催のクラスもあります)。ドイツ語ネイティブと日本人の教師がおり、それぞれの良さを活かした授業を行っています。月ごとにテーマが変わる「学問のための基礎ドイツ語」クラスは、1か月単位での参加が可能です。授業体験などについては事務局にご相談ください。

* 研修生交代

ダヴィット・マイヤーさんの研修は3月末までとなります。あと1か月、どうぞよろしくお願いいたします。4月から9月末まではフロリアン・レツラフさんが研修を行う予定です。

ドイツ語講習会

2023年度下半期コース

火～日曜日

Deutschkurse in der JDG

Oktober 2023 - März 2024

jeden Di.-So.

賀詞交歓会

1/6 (土) 15:00～17:00

日独協会セミナールーム

Neujahrsbegrüßung

Datum: Sa., 6. 1. 24, 15.00-17.00

Ort: Seminarraum der JDG

参加者 30 名。恵谷副会長が冒頭のあいさつで、元日に発生した能登半島地震の犠牲者に哀悼の意を表しました。そして、2024 年の新しい取り組みとして、若い世代の将来につながるイベントや日独交流の機会を増やすことを述べました。また今年も東京・ベルリン友好都市締結 30 周年記念事業の一環として、日独協会が主催する「日独マンガコンクール展示会」を OAG ホールで開催することを紹介し、多くの会員に日独のマンガ作品を楽しんでほしいと希望を伝えました。今回の賀詞交換会は休日に開催されたので、ユースネットワークの会員やドイツ人の方々にも多くご参加いただきました。新規の会員も多く、会員同士の交流も活発でした。たくさんの方が飲食物を持ち寄ってください、アットホームな雰囲気の中、皆さま交流を楽しんでおられました。(柚岡 一明)



会員懇談会サロン

テーマ：「私の経験した連邦首相—シュミットからシュルツまで」

1/15 (月) 18:00～19:30

日独協会セミナールーム

Mitgliederstammtisch

Thema: Die Bundeskanzler/-innen, die ich erlebt habe

Datum: Mo., 15. 1. 24, 18.00-19.30

Ort: Seminarraum der JDG

講演者：八木毅氏 (前駐ドイツ大使・日独協会副会長)

参加者 20 名。八木大使が縁をもたれた 5 人のドイツの首相について、それぞれの印象やエピソードを交え、大変リアルで興味深いお話を頂いた。伺ったお話

の中から特に興味深く感じられた各首相の特徴をご紹介します。

1. シュミット首相は雄弁、鋭い舌鋒で „Schmidt Schnauze (シュミット節) “とされていた。例えば、ブランドの「ヴィジョン」について „Wer Visionen hat, sollte zum Arzt gehen.“ と言ったことは有名。
2. コール首相は日本との関係で大きな貢献をした。特に中曽根総理とベルリン日独センターの設立で合意したことはその一つと言える。ただし、「頻繁に総理大臣が替わる国に行っても仕方がない。」との趣旨の発言をしたとされる。
3. シュレーダー首相は「Agenda 2010」を打ち出し、その後のドイツ経済の回復をもたらしたと言われている。中でも、労働市場改革が注目されることが多い。しかし、退陣後ロシアのエネルギー企業の役職に就任し物議を醸した。ロシアのウクライナ侵攻後は SPD にとっても「お荷物」となった。
4. メルケル首相は平静、沈着、理知的、忍耐強い、慎ましい、慎重、雄弁ではない。他方で機を見るに敏。誤りを簡単に認めないしたたかさ。仕事の面ではプラグマティズム、課題対応アプローチ、漸進主義。
5. ショルツ首相は、メルケル以上に慎重で手堅い。他人に言われて決めたりすることを嫌う。昨年を通じて連立 3 党間の対立が露呈し、これに伴い 3 党への支持が低落。日本との関係では、前任者の中国偏重を改め、アジアで最初に日本を二国間訪問。(佐藤 勝彦)

独逸塾

1/15 (月) 19:00～21:00

Gesprächskreis: Neuigkeiten aus Deutschland

Datum: Mo., 15. 1. 24, 19.00-21.00

参加人数 25 名。

1. テキストは 2023 年 10 月 16 日 ZDF より IG メタルの女性労働組合長 (Christiane Benner) が AfD と闘う意思を持っている、という内容

IG メタルの組合には 2.2 百万の労働者が加入しており約 50 万人が外国人労働者である。移民の排斥を唱える AfD に立ち向かう方針である。

2. テキストは 2023 年 10 月 23 日 Business Insider より「IG メタルは初めての女性労働組合長を選出」

1) 課題

AI を含む情報革命への転換。IBM や SAP のような企業に注目。企業での女性の幹部比率の増加や週休 4 日制への取り組み。

2) 批判

一部の批判者からは Benner 氏の給与引き上げ交渉力に疑問を持つ声もある。

3. テキストは 2023 年 10 月 22 日 Spiegel 誌より、世論調査で支持率が 19% まで落ち込んだシュルツ首相との対談記事。イスラエルを訪問したが国内ではイ

スラエルのガザ侵攻により各地で反ユダヤデモが起きており、また移民政策の見直しを迫られている。

1) ハマスに拉致されているドイツ人の解放に全力を尽くす。

2) 150,000 発のロケット弾を持つヒズボラに、戦闘に加わらないように警告している。

3) ショルツ首相がイスラエルの首相に伝えたことは、イスラエルがガザ地区を攻撃するときは国際法上の人権を重視すること。

4) ショルツ首相はハマスのテロ攻撃を非難、イスラエルを擁護している。

ドイツ語の解釈をめぐり活発に議論があった。特に **Deutschlands größter, mächtigsten und männlichsten Gewerkschaft, fest verankert in der Automobilindustrie.** は文法上誤りではないかとの議論が集中した。(森永 成一郎)

ドイツ時事問題研究会 第95回

1/20 (土) 15:00~17:00

Studiengruppe "Deutschland aktuell" (95)

Datum: Sa., 20. 1. 24, 15.00-17.00

「今月のトピックス」では、①移民・難民が努力次第で短期間でドイツ国籍を取得できる新国籍法の成立、②農業用ディーゼル燃料に対する優遇措置の段階的削減に反対する農業者がベルリン等に大量のトラクターを繰り出して抗議、③極右主義者のグループが2023年11月に秘密会合を開き、外国系国民の「再移民(国外送還)」などを協議したことが明るみに出て、各地で大規模な反極右デモに発展、④左派党を離脱したサラ・ヴァーゲンクネヒト氏を中心とする新党SWBの発足、⑤2023年の電力消費量に占める再生可能エネルギーの割合が56%に拡大、などについて報告した。また、大町さんから2023年の「ドイツの重大ニュース」を発表していただき、前年を回顧しつつ、意見交換を行った。

「今月のテーマ」では、「ドイツと日本の環境意識」と題して木下信行さんから日独間の相違を国連やKRC Researchのデータ、政府の考え方や取り組み、国民性などの観点から分析した興味深い報告をいただき、日本の課題などについて質疑に丁寧に答えていただき、理解を深めた。(伊崎 捷治)

Die Brücke への寄稿のお願い

Aufruf zu Beiträgen für die Brücke

日独関連の活動の紹介やエピソード、紹介したいドイツ語圏カルチャー(本、音楽、映画、趣味)、日本の中のドイツ(おすすめのお店、レストラン、場所等)、ドイツに関する体験談やドイツ語学習法などについて、ご寄稿をお待ちしています。また、シリーズ「私とドイツ」の記事や表紙の写真も募集しています。執筆をご希望の方は、事前に編集部までご連絡ください。

シュプラッハトレッフ (日独言語交換会)

1/20 (土) 19:00~20:40

Sprachtreff

Datum: Sa., 20. 1. 24, 19.00-20.40

参加者約40名。今回もZOOMで集まった後、小グループに分かれて日独会話交流を行いました。事後アンケートでは、「実際にドイツ語を聞ける、話せる、貴重な時間なので嬉しい。自分の力のなさが分かりすぎるが、モチベーションがあがる」、「グループに前回と同じメンバーがいたので親しみがわいて楽しかった」、「モデレーターさんの進行がすばらしかった」というようなポジティブな感想をいただくとともに、「初参加の人には流れがわかりにくい」、「B2レベルにもモデレーターがいたほうが良い」というようなご提案もいただきました。

スタッフはイベントの前に、参加者の皆さんがより良く交流できるよう、日本語とドイツ語の母語話者数が同じくらいになるように小グループのメンバーを決めています。しかし、毎回急なキャンセルや、連絡のない欠席があり、せっかく準備したグループ内の日独母語話者のバランスが崩れ、その場でグループを作り直したり、皆さんをその間お待たせしたりすることになります。特に連絡のない欠席があると、その方が来るものだと考えて進めますので、どちらか一つの言葉を話す人しかいない、というような状況になることもあります。スタッフだけでなく、参加いただいている方々にも影響が出てしまいますため、欠席の場合は必ず事前にご一報いただきますようお願いいたします。

日独漫画コンクール2023 授賞式および受賞作品展示会

1/23 (火) ~ 1/28 (日)

OAG ハウス

Mitgliederstammtisch

Thema: Studentenverbindung in Deutschland

Datum: Di., 23. 1. 24. – So., 28. 1. 24.

Ort: OAG Haus

日独漫画コンクール関連のイベント報告は、4月号のDie Brückeに掲載いたします。

※会場が書かれていないイベントはオンラインで開催されました。

広告掲載・チラシ封入のご案内

Über die Anzeigen und Flugblattbeilagen

Die Brücke 本誌への広告掲載料は下記のとおり。

1 ページ 80,000 円 / 1/2 ページ 40,000 円 /

1/4 ページ 20,000 円

チラシ封入料: 法人会員 20,000 円

個人会員 25,000 円 / 一般 30,000 円

広告掲載をご希望の場合は、編集部にご連絡ください。

(公財)日独協会が開催する催物のご案内です。申込方法は次の通りです。

- ① 会場の記載のないものは ZOOM を使用したオンライン開催となります。
- ② 事前申込制・先着順の受付となります。
- ③ 日曜日、月曜日は受付作業、お問合せ等の対応はできませんので、あらかじめご了承ください。

※ いただいた個人情報はイベント開催に関する手続き以外には使用いたしません。

日独協会の概要及び催物最新情報はホームページでもご覧頂けます。 ■ <http://www.jdg.or.jp>

問合せ E-mail : jdj@jdg.or.jp Tel. : 03-5368-2326 (受付時間 月～金 14:00～17:00) Fax. : 03-5368-2065

◇シュプラッハクナイペ「アニメでドイツ語を学ぼう」◇

日時：2024年3月8日(金) 19:00～20:30

担当：David Meier さん(日独協会研修生)

会費：(公財)日独協会会員：500円 / 一般：1,500円

申込み：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

シュプラッハクナイペ(Sprachkneipe)は、ドイツ語初心者向けのイベントです。協会のドイツ人スタッフと楽しみながらドイツ文化やドイツ語を学びます。今回は「アルプスの少女ハイジ」などのアニメの一場面をドイツ語で見たり、使われている表現を確認したりしながら、楽しくドイツ語を学ぶ予定です。

◇ドイツ語圏文化セミナー158「オーストリア国家公認ガイドが教える、楽しいウィーンの歩き方」◇

日時：2024年3月9日/3月16日(土) 15:30～17:30

講師：今井 謙氏(オーストリア国家公認ガイド)

会費：通し参加(4時間) (公財)日独協会会員・当協会ドイツ語受講生：3,000円 / 一般：4,000円

1日のみ参加(2時間) (公財)日独協会会員・当協会ドイツ語受講生：2,000円 / 一般：2,500円

申込み：ドイツ語春期講習会のオンライン申込フォームからお申込ください。

日々たくさんのお客様をガイドしてウィーン中を駆け回っている今井謙さんに、現地からウィーンの魅力をたっぷりお話しいただきます！1回目はウィーン初心者向け、2回目は中上級者向けの少しマニアックな内容となっています。詳細は同封の春期講習会パンフレットをご覧ください。

◇ドイツ語圏文化セミナー159「2024年のドイツ政治、ここに注目！-『スーパー選挙イヤー』の政党と世論の動向-◇

日時：2024年3月15日/22日(金) 19:00～21:00

講師：高島 亜紗子先生((公財)日本国際問題研究所研究員)、小野 竜史先生(慶應義塾大学 非常勤講師)

会費：通し参加(4時間) (公財)日独協会会員・当協会ドイツ語受講生：3,000円 / 一般：4,000円

1日のみ参加(2時間) (公財)日独協会会員・当協会ドイツ語受講生：2,000円 / 一般：2,500円

申込み：ドイツ語春期講習会のオンライン申込フォームからお申込ください。

国際政治と歴史学の研究者が今年の選挙と各政党の支持の動向、新党設立の動きとその政治的インパクトについて解説します。ドイツの社会・政治情勢の今を知りたい方におすすです。詳細は同封の春期講習会パンフレットをご覧ください。

◇ドイツ時事問題研究会◇

日時：2024年3月16日(土) 15:00～17:00 申込期限：開催2日前まで 会費：無料

テーマ：毎回参加者の提案をもとに次回のテーマ(複数可)を決定 定員：20名

世話人：伊崎 捷治理事、新井 俊三氏

申込み：事前にメールで参加申込みをいただいた方に世話人から「招待」メールをお送りします。

世話人連絡先 Tel. : 080-1137-5111 E-mail : [isakis\(a\)snow.ocn.ne.jp](mailto:isakis(a)snow.ocn.ne.jp) ※ (a)は@に書き換えて下さい

参加者がドイツの政治、経済、社会などの分野で関心を抱いた事柄やテーマを持ち寄り、相互の情報交換やディスカッションを通じて経緯や背景を探り、日本との比較も踏まえながらドイツの現状や動向について理解を深めます。これまでに難民問題、エネルギー問題、日独の生産性の違いなどについて議論しましたが、これからはコロナ危機の克服、経済再活性化、ドイツがEUの強化や持続可能な発展などに果たす役割など、ホットなトピックスを探りあげていきます。

◇Sprachtreff (シュプラッハトレッフ) ◇

日時：2024年3月16日(土) 日本時間 19:00～20:40 ドイツ時間 11:00～12:40

担当：ダヴィット・マイアーさん、芦野 淳子さん

会費：(公財)日独協会会員：無料 / 一般：2,000円 定員：40名程度

参加条件：言語交換を積極的に楽しみたい方(目安レベル：A1.2以上)

申込み：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

Sprachtreff はオンラインで開催している日独言語交換会です。レベルごとに少人数のグループに分かれて日本語とドイツ語で 40 分程度ずつおしゃべりをします。(上級はテーマと言語の時間指定はありません)。また、B1 レベルまでのグループにはモデレーターが付き、会話をサポートします。

◇(対面) 会員懇談会サロン テーマ「(仮題) ドイツで神学を学ぶ ～イスラエルの考古学(シナゴグ)、聖書考古学」◇

日時：2024 年 3 月 18 日(月) 18:00~19:30

会場：日独協会事務所内セミナールーム 会費：無料

講師：山野 貴彦先生(日本聖公会神学院)

世話人：佐藤 勝彦氏(日独協会理事)

申込み：お名前、(公財)日独協会の会員番号、メールアドレス、電話番号を記入の上、世話人の佐藤理事までメールでお申込みください。世話人連絡先：s-kmtaym(a)nifty.com ※ (a)は@に書き換えて下さい

下記の 4 点を中心にお話を頂きます。◆ドイツにおける聖書考古学の伝統 ◆日本発掘調査隊のガリラヤ地方テル・レハシュ遺跡発掘調査 ◆イスラエル考古学の政治的問題点 ◆エルサレム巡礼研修とユダヤ人・パレスティナ人協働の可能性

◇独逸塾：「ドイツのニュースを楽しむ会」◇

日時：2024 年 3 月 18 日(月) 19:00~21:00 (18:30 からオンライン上で開場)

申込期限：開催前週の金曜日まで 会費：無料

世話人：森永 成一郎氏

申込み：新規参加希望の方は、会員資格の有無、メールアドレス、電話番号を記載の上、協会(jdg@jdg.or.jp)までメールでお申込みください。

ドイツのニュースを取り上げ、読むだけでなく、背景となるドイツ事情を学ぶ独逸塾。ドイツ語初級文法を一通り終えた方向け(新聞記事には間接話法が多用されるため、接続法も習得されているとなお良いでしょう)、「お試し参加」、聴講のみも可能です。

◇(対面) 夜桜散歩◇

日時：2024 年 3 月 26 日(火) 夕方(1 時間~1 時間半くらいを予定しています)

信濃町から千駄ヶ谷周辺を歩く予定です。夜桜を楽しみながらのんびり散歩しましょう。集合場所等については決まり次第、協会ウェブサイトでご案内いたします。

◇(対面+オンライン) ドイツ語圏文化セミナー160 「ドイツの今 第 10 弾 ~安くドイツを旅するための実用・非実用テクニックのすべて~◇

日時：2024 年 3 月 30 日(土) 15:30~18:00

講師：柳原 伸洋先生(東京女子大学歴史文化専攻教員)

会場：日独協会事務局内セミナールーム(オンラインでも参加可能なハイフレックス方式)

会費：(公財)日独協会会員・当協会ドイツ語受講生：2,000 円 / 一般：2,500 円

申込み：ドイツ語春期講習会のオンライン申込フォームからお申込ください。

ドイツから帰国直後の柳原先生が現地で体得した旅テクニックや体験談をお話しくださいます!「もらっても微妙な気持ちになるドイツ土産抽選会」もやります。詳細は同封の春期講習会パンフレットをご覧ください。

◇(対面) ぶらドイツ 第 11 回 「青梅市でぶらドイツ」◇

日時：2024 年 3 月 31 日(日) 10:40~16:00(雨天決行)

集合場所：JR 沢井駅(予定) 解散場所：JR 御嶽駅

オーガナイザー：久保 健氏、袖岡 一明常務理事

定員：20 名(お早めにお申込ください) 申込期限：3 月 26 日(火)

申込み：協会ウェブサイトのオンラインフォームから申込みください。

順路(予定)：

沢井駅集合→青梅・ポッパルト友好協会会食→澤乃井酒造見学

→御嶽溪谷・玉堂美術館→御嶽駅で解散

※ 参加者には後日詳細なスケジュールをお伝えします。

豊かな自然で知られる東京都青梅市は、ドイツとの関係も深く、市内を流れる多摩川流域の風景が似ていることから、1965 年 9 月よりラインラントプファルツ州のライン河左岸の街ポッパルト市と姉妹都市になっています。今回のぶらドイツは、長年にわたりその活動を担ってきた、青梅・ポッパルト友好協会の皆様との懇親を深め、昼食や酒造見学をはさみつつ、桜咲く御嶽溪谷を散策します。約半世紀にわたり青梅市とポッパルト市で行われてきた市民交流を通じて育まれた日独友好のあゆみをうかがいながら、春の休日、青梅で楽しい時間を過ごしたく思います。



(上) 御嶽溪谷 (下) 友好都市の旗



Wir laden Sie ganz herzlich zu unseren kommenden Veranstaltungen ein und bitten Sie, sich wie folgt anzumelden:

1. Wenn kein Veranstaltungsort erwähnt wird, findet die Veranstaltung online statt.
2. Eine Anmeldung muss zuerst erfolgen und wird in der eingegangenen Reihenfolge behandelt.
3. Bitte beachten Sie, dass wir sonntags und montags keine Anmeldungen oder Anfragen beantworten können.

Informationen zu den aktuellen Aktivitäten der JDG finden Sie jederzeit auf unserer Internetseite (<http://www.jdg.or.jp>).

E-Mail: jdg@jdg.or.jp Tel.: 03-5368-2326 (Mo.-Fr. 14.00~17.00 Uhr) Fax.: 03-5368-2065

Sprachtreff (Online-Gruppentandem)

Datum: Samstag, 16. März 2024, 11:00-12:40 Uhr deutscher Zeit (19:00-20:40 Uhr japanischer Zeit)

Beitrag: Deutschsprachige Teilnehmer • Mitglieder der JDG Tokyo: kostenlos / Alle anderen: 2.000 Yen

Anmeldung: Über das Online-Formular auf unserer Website

Der Sprachtreff schafft eine einmalige Plattform für sprachinteressierte Leute jeden Alters, die Deutsch bzw. Japanisch lernen und sich über unterschiedliche Themen unterhalten möchten. Es werden maximal 40TN zugelassen, um die Gruppen klein zu halten. Wir bitten darum, sich zum Sprachtreff anzumelden, wenn ihr bereits in der Lage seid, euch aktiv an Gesprächen zu beteiligen, also etwa die Stufe A1.2 erreicht habt. Die Japanisch-Deutsche Gesellschaft freut sich auf eure Teilnahme!

Kirschblüten-Spaziergang bei Nacht

Datum: Abend, Dienstag, 26. März 2024 (Dauer: 1 bis 1,5 Stunden)

Es ist geplant, von Shinanomachi zum Sendagaya-Gebiet zu laufen. Der Treffpunkt und weitere Einzelheiten werden auf unserer Website bekannt gegeben, sobald sie feststehen. Lassen Sie uns einen gemütlichen Spaziergang machen und dabei die abendlichen Kirschblüten genießen.

Buradoitsu: Nr. 11 "Buradoitsu in Ōme"

Datum: Sonntag, 31. März 2024 ab ungefähr 10:40 Uhr (auch bei schlechtem Wetter)

Treffpunkt/Endpunkt: JR Bahnhof Sawai (geplant) / JR Bahnhof Mitake

Organisation: Herr Ken Kubo; Herr Kazuaki Yuoka (Hauptgeschäftsführer)

Maximale Teilnehmer: 20 Personen (melden Sie sich rechtzeitig an) Anmeldeschluss: Dienstag, 26. März

Anmeldung: Online-Formular auf der Website der JDG

Geplanter Ablauf:

10:40 Treffen am Bahnhof Sawai

12:00 gemeinsames Essen mit der Ōme-Boppard Freundschaftsgesellschaft

13:00/14:00 Besichtigung der Sawanoi Sake Brauerei

14:30 Spaziergang im Kamanofuchi Park

15:00 Besichtigung des Gyokudo-Museums

16:00 Ende am Bahnhof Mitake

※ Der genaue Ablauf wird den Teilnehmern zu einem späteren Zeitpunkt mitgeteilt.

Die für ihre reichliche Natur bekannte Stadt Ōme in Tokyo hat auch enge Beziehungen zu Deutschland. Da die Landschaft des durch die Stadt verlaufenden Tamagawa-Flussgebietes ähnlich ist, sind Ōme und die links des Rheinuferes liegende Stadt Boppard in Rheinland-Pfalz seit September 1965 Partnerstädte. Dieses Mal werden wir die Ōme-Boppard Freundschaftsgesellschaft kennenlernen, die seit vielen Jahren für Vereinsaktivitäten verantwortlich ist, gemeinsam zu Mittag essen und entlang des Tamagawa, wo die Kirschblüten blühen, spazieren gehen. Lasst uns zusammen einen schönen Frühlingssonntag in Ōme verbringen und dabei von der Geschichte der deutsch-japanischen Freundschaft erfahren, die durch den seit ungefähr einem halben Jahrhundert durchgeführten Bürgeraustausch zwischen Ōme und Boppard gepflegt worden ist. Wir freuen uns auf Ihre Teilnahme.

会報誌 Die Brücke への投稿募集！

今年はドイツ連邦共和国の建国（1950年）から75周年という節目の年に当たります。

協会会報誌 Die Brücke では、主に東西分断時代のエピソード（当時の滞在の思い出など）を中心とした会員の皆様からの投稿記事を複数回に分けて掲載する企画を予定しています。

300文字以内で協会のメールアドレス jdg@jdg.or.jp へ、または右のQRコードを読み取って専用投稿サイトからお送りください。

メールの場合は件名を「会報誌投稿」とし、必ず氏名をお書きください（誌上での掲載名はイニシアルでも可）。なお、全員の投稿を掲載できない可能性がある点を予めご了承ください。

